

# 名古屋大学 医系研究棟3号館

医学部・医学系研究科

- 先端医療・  
臨床研究支援センター
- 分析機器部門
- 組織 / 病理実習室
- 解剖教育施設

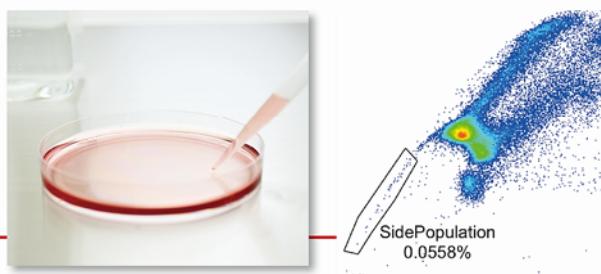
# 基礎医学研究の コアファシリティー

分析機器部門では、医学研究に必要な各種分析・計測機器を取り揃え維持管理しています。2014年8月に、これまで数ヵ所に置かれていた全ての機器を医系研究棟3号館に集約しリニューアルしました。さらに新たな機器が導入され、より幅広い分野での研究支援を目指しています。名古屋大学の構成員に限らず外部の方の利用も可能で、利用者は機器の操作、分析結果の検討、前処理方法の紹介などの研究支援サービスを受けることができます。

## 細胞

### 細胞機能解析

細胞の機能・性状を調べることは癌研究や幹細胞研究では欠かせません。フローサイトメーター・セルソーターを使えば、細胞の様々な機能を解析・同定できるだけでなく標的細胞を生きたまま分取することも可能です。

フローサイトメーター・セルソーター  
(FACSSORP Aria II)

### 分子構造解析

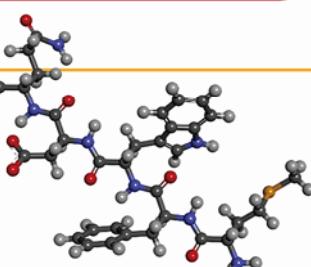
プロテオーム解析やメタボローム解析など、高分子から低分子までの、定性・定量の解析が可能です。



質量分析装置 (Orbitrap Fusion)

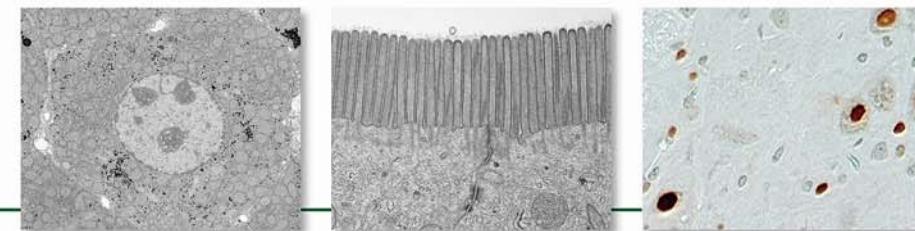


質量分析装置 (QTRAP 6500)



質量分析装置 (Q Exactive)

## 分子



## 組織

### バイオイメージング

分子レベル物質の細胞内での局在や形態形成への関与などを解析できます。高解像度イメージングが可能で、超高速での画像取得と光刺激に対応し、細胞内動態や相関の解明を実現します。



共焦点レーザー顕微鏡 (A1RMP)



走査電子顕微鏡 (JSM-7610F)



透過電子顕微鏡 (JEM-1400PLUS)

レーザーマイクロカットセクション  
(LMD7000)

### 遺伝子情報解析

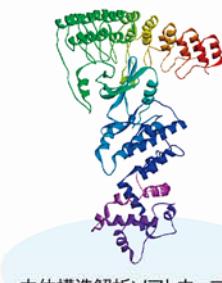
塩基配列の同定から蛋白質の構造にいたるまでの一連の解析とその過程で生じるサンプル状態の確認等に関わる主に光学的分析装置を集約しています。



次世代シーケンサー (Miseq)



超遠心機 (Optima L-100XP)

立体構造解析ソフトウェア  
(Discovery Studio)

# 先端医療・臨床研究支援センター(10F)

Center for Advanced Medicine and Clinical Research

## 名古屋大学における 先端・先進医療開発体制

革新的医療技術創出拠点 文部科学省

### 先端医療支援部門

- 1 支援研究 (試験物品質評価、バイオリソース・クリニカルシーケンス)
- 2 マテリアル調製
- 3 品質管理
- 4 システム情報
- 5 知財管理

### シーズの発掘から医療の定着までのプロセスを一元化

文部科学省「橋渡し研究加速ネットワークプログラム」と厚生労働省「臨床研究中核病院整備事業」のシームレスな業務統合

#### 名大病院が目指す先進医療・治験推進体制



超高齢社会、地域医療、疾病構造の変化など我が国が抱える喫緊の医療課題を解決するための取り組みのひとつとして、国際基準に沿った臨床研究推進体制を病院全体で実現します。そのために、シーズ発掘と育成の持続性、臨床研究を担う人材育成、臨床研究推進基盤の国際標準化(ICH-GCP)、優れたシーズの実用化と産業化の4項目を掲げ、それぞれにアクションプランを策定し、年次計画に従って基盤整備を遂行しています。

愛知医科大学 三重大学

金沢大学 KANAZAWA

岐阜大学 Gifu University

名古屋医療センター NMC

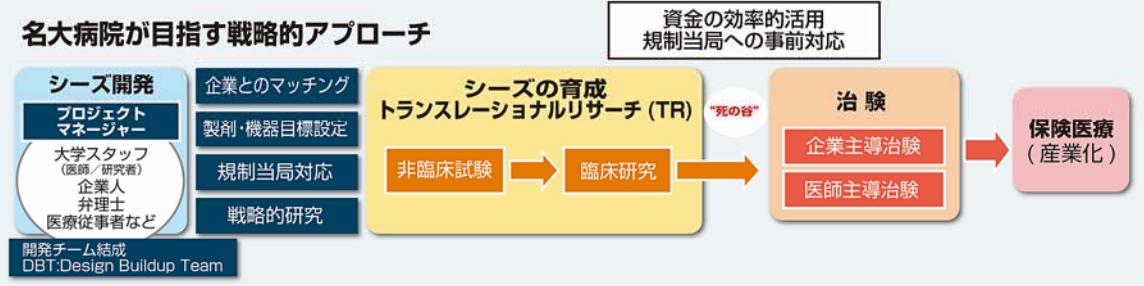
独立行政法人 国立長寿医療研究センター National Center for Geriatrics and Gerontology

富山大学 Toyama University

藤田保健衛生大学 Fujita Health University

### 中部先端医療開発 円環コンソーシアム

「中部地域の大学が協働して、社会のニーズに応えた新たな医療技術や医療機器を迅速に開発し、いち早く患者に提供する。もって我が國のみならず人類の健康と平和に貢献すること」を目的に、12施設が結集したコンソーシアムを運営しています。



名古屋大学医学部附属病院を中心とした持続可能なネットワーク型先端医療開発拠点を中部圏に形成し、名古屋・中部地方から新しい医療を世界に発信します。



革新的医療技術創出拠点 厚生労働省

### 臨床研究支援部門

# 解剖教育施設(2F) 組織・病理学実習室(3F)

## 最先端の解剖・組織・ 病理実習設備

### 大解剖実習室

解剖実習室は、医学部医学科学生や保健学科学生が、献体されたご遺体を用い、肉眼解剖実習や見学を行なう施設です。大解剖実習室には29台の解剖実習台が設置され、将来35台までの設置が可能となっています。各実習台の上部には清浄空気の吹き出し口とLED照明が配置され、直下の実習台の縁には空気吸引装置が設置されております。これにより、万全のホルマリン対策がとられています。医学科の学生は毎年約3ヶ月間この実習室で実習を行いますが、学生が実習に打ち込める快適な環境を提供します。



実習台上の空気吹き出し口とLED照明



大解剖実習室



小解剖室でのトレーニングセミナー



解剖体処置保存施設

### 小解剖実習室

小人数での解剖教育や教職員の研究・研修を行なうための施設です。8台の実習台が設置され、空調等も大解剖実習室と同様の設備を有します。また、名古屋大学が国内の大学等で解剖学教育に携わっている教員の研修のために30年以上に渡って開催している解剖学トレーニングセミナーもここで行なわれます。

### 組織 / 病理実習室

学生が組織標本や病理標本を顕微鏡で観察し実習する施設です。顕微鏡とバーチャルスライドシステム端末が約120セット設置されており、実際の標本とバーチャルスライドの提示標本を見比べながら効率のよい実習が行なえます。



組織／病理学実習室



標本提示用の教員ブース

## 階構成



## 位置図



### ■ 建築概要

建物名称：医系研究棟3号館

建築面積：1,536.77m<sup>2</sup>

延床面積：13,087.64m<sup>2</sup>

建物高さ：44.85m

階 数：地上10階 / 地下1階

構 造：鉄骨鉄筋コンクリート造

竣 工 日：平成26年6月30日

名古屋大学大学院医学系研究科・医学部医学科

お問い合わせ ☎ 466-8550 名古屋市昭和区鶴舞町65番地 TEL:052-741-2111  
<http://www.med.nagoya-u.ac.jp/>